



# 学校だより

No. 11 さいたま市立神田小学校  
 令和7年1月31日発行 Tel (853) 4377  
 URL : <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を  
 たくましく生きる神田の子  
 ・かしこく・たくましく・あたたかく

## 子どもたちの未来へ向け 私たちができること

校長 中村 誠

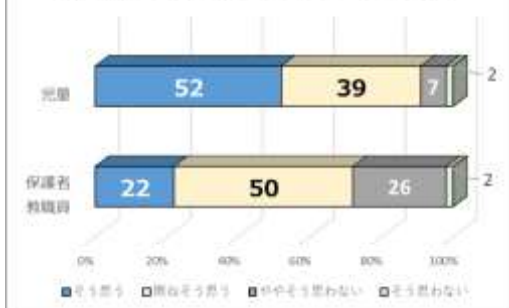
昨年の11月から12月にかけて、保護者の皆様におかれましては、学校評価アンケートに御協力いただきました。誠にありがとうございました。アンケート結果については、全教職員で分析を行いました。今後は、結果を基に次年度の教育活動方針を定めていきたいと考えております。結果の分析については、あらためて別紙にてお配りいたします。

さて、アンケート結果について別の視点から考察していきたいと思えます。表①は「神田小の子どもたちはすすんであいさつしていますか？」との質問に対して「児童」と「保護者・教職員」の結果を比べたものです。約5割の子どもたちが「進んで挨拶できている」と評価しているのに対し、保護者と教職員は約2割しか「できている」と評価していないということになります。表②「神田小の子どもたちは失敗を恐れずに挑戦していますか？」との質問についても割合は違えどもおよその傾向が同じです。これは、子ども自身が頑張っていると思っていることを、大人が「まだまだ」と思っているとのあらわれだと、私は考えています。

私は、先月の学校だよりに、子どもたち一人ひとりの「well-being(多様な幸せ)」を実現する教育活動を目指していきたいと述べさせていただきました。そのためには、子どもが「頑張っている」と思っていることを支え励ますことが重要だと考えています。私たち大人は、子どもたちにもっと成長してほしいがゆえに「まだまだ」と思っていていけないことに目を向けがちになっていると思えます。子どもたちの未来に向け、全ての大人が子どもたちの頑張りや良さを見つけ、励まし支えていく中で、子どもたち自身がwell-being(多様な幸せ)を実現し、健やかに育っていけるのではないのでしょうか。ありがたいことに表③において、私たち教師が子どもたちの良さを伸ばそうと取り組んでいることを、子どもたちも保護者も評価してくださっています。しかし、全体の4%がそう思わないと感じています。全ての子どもたちと保護者から評価をいただけるよう、これからも全力で取り組んでいく決意です。

保護者・地域の皆様には、これからも子どもたちを支え見守りながら、今月も変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

表① 神田小の子どもたちはすすんであいさつしていますか？



表② 神田小の子どもたちは失敗を恐れずに挑戦していますか？



表③ 先生たちは子どもたちの良さを伸ばそうとしていますか？

